
過激な人形劇

落ちぶれた天使

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

過激な人形劇

【Nコード】

N3374Z

【作者名】

落ちぶれた天使

【あらすじ】

新一がまだコナンであるとき、
ていたん高校でおこった過激な人形劇というなのいじめ。
コナンは蘭をすくえるのか？
ハッピーエンドです

プロローグ(前書き)

ああああああああああああああ

プロローグ

私はね、

工藤君がだあくいすき

だけどね、アノ子がじゃまなんだよね。

こわしちゃおう

いま、

こわしにいくからね

傷つけて傷つけて

でも

ヤメテなんていわせないよ？

だって

世界はワタシ中心にうごいてるんだもん

工藤君がいまないこのうちに、

毛利蘭をワタシのおもちやにしまあす

そうしたらワタシとつきあってくれよね？

工藤君好きな子あやつれば

完璧まちがいなくし

さあ、

はじまるよ？

ワタシの愉快的な人形劇。

みなさんごちゆうも〜く

プロローグ（後書き）

ああああああああああああああああ

コナン 新一?? (前書き)

ああああああああああああああああ

コナン「新一??」

私の名前は桜井美鈴。

顔ははつきりいって普通。

どちらかというと美人にちかいけど、

美人ではない。

私は工藤君がだいすき。

しかも同じクラス

なんだけど工藤君最近学校にこないんだよね。

だからいまがチャンスなの

毛利蘭をいじめる。

さあ開始

〈図工の時間〉

いまは絵をかいてる。

毛利が私の前を水をもってあるいてきたから脚をひっかけてやった。

そしたら毛利、おもいっきり転んじゃって

水を朝日加奈ってこの絵にぶちまけちゃったのよね。

そのこも工藤君がすきでそのこの仲良しなこたちも工藤君がだいすき。

それに私があしをかけたことにみんなきずいてない。

加奈「あ、あたしの絵が・・・うまくできたのに・・・毛利さんひどい！そんなこだとはおもわなかったよ！！」

加奈が目には涙をためていった。

そしたら仲良しの3人、荒井めぐみ、ささきなお、早川ありさがでてきた。

めぐみ「ほんとさいてーわざとでしょ。加奈の絵のだきがいいからってさ。ひどいよね。工藤君にいつちやおーかなー」

ありさ「そうそう。ちゃんとあやまんなさいよ。加奈がかわいそう」

なお「そうよ。ほんとさいてー」

蘭「わ、わざとじゃないよ！！ほ、本当にごめんなさい！！」

加奈「私だけ書き直し・・・最悪・・・」

蘭「ごめんなさい・・・」

蘭はそういうと自分の書いていた絵に水をぶちまけた。

蘭「私も、かき、なおすから・・・」

そこに蘭の友達がやってきてかばった。

アノこの性格を知っている子は大抵蘭の見方につく。

先生「なにやってるんですか？毛利さんも朝日さんもかきなおしてください。」

先生も蘭の性格をしっている。

だから怒らなかった。

〈休み時間〉

蘭は加奈たちによばだされ屋上にいた。

加奈「あんたってほんとさいてー。あんたのせいでアタシまでおこられたじゃん。」

蘭「本当にごめんね・・・。」

ありさ「じゃあさ、カッターで自分の腕きってみて？そうしたら加奈もゆるしてくれるから。」

蘭「え!？」

加奈「そうそう。3回でいいよ！右2かい左1回やさしい」

蘭「・・・分かった・・・」

蘭はそういふといわれたとおり腕をきった。

そうすると満足して4人はいなくなった。

蘭はその場でなきさけんでいた。

腕からはどくどく血がながれる。

さがしにきた教師がびっくりして蘭を保健室につれていった。

先生「大丈夫？毛利さん？」

蘭「・・・はい・・・すみません・・・」

先生「いったい何があったの？そばにおちてたカッターに血がついてたし。」

蘭「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・」

蘭は目を真っ赤にして「だまった。」

教師はみんな蘭のことがすきだ。

やさしくて笑顔で応答してくれる蘭を。

先生「おねがい、おしえてくれる？」

蘭「・・・ほ、本当に、なんにもないん、です・・・」

証拠もないのにいじめのことをいつたら逆にいじめられるのは殺人事件を何回も見てきた蘭には簡単に想像がつく。

だからあえてなにもいわなかった。

だが先生がいったんでいくと蘭はなきだした。

教師は職員室にあつめられ、防犯カメラからその様子をみていた。

あまりにも蘭がおかしかったため、みんな心配になったのだ。

蘭は悲しく泣き叫ぶ。

まるで、助けて、助けてと叫んでいるように。

教師はいじめだなと確信した。

そして保健室に教師がはいつてきた。

扉が開く音がすると、蘭は涙をぬぐって笑いきれていないつらそうなつくり笑顔でやさしく教師にいった。

蘭「私、今日ちょっと調子わるいんでかえりますね。すみません。じゃあありがとうございます。」

先生「え、ええ。」

蘭はそのまま教室をでていった。

〜次の日〜

蘭が教室のドアをあけた。

蘭は両腕に包帯をまいていて血がにじんでおりあまりにもいたいたしい。

心配するクラスメイトに大丈夫と返事をして机の中をさぐった。

なにかべとべとする感覚がした。

のぞいてみて蘭は机からころげおちた。

同時につくえからナイフでさされてしんでいるたくさんの小動物がでてきた。

蘭「い、いやあ！！なにこれ！？」

蘭はなきさげんだ。

心配したせいとが蘭をかこむ。

女子生徒だけではなく男子生徒もかなりおおかった。

というより全員だった。

園子「ちょっとだれよ！！蘭の机にこんなの入れたのは！！」

中道「大丈夫か？毛利。いま先生よんでくるからよ！！」

蘭「い、いやぁ・・・うつぅ」

蘭は頭をおさえてうずくまっている。

教師「なにやってんだぁ！誰だ！？こんなことしたやつ！毛利、大丈夫か？鈴木、悪いが毛利を保健室につれてってやれ。」

園子「はい。たてる？蘭。」

蘭はまだ泣きながら震えていた。

そこにコナンがやってきた。

コナンは教室をノックしてはいつてきた。

コナン「失礼します。蘭ねえちゃん、お弁当わすれたよって蘭！？」

コナンはさげんで蘭にかけよった。

その目は工藤新一そのもの。

クラス中の蘭以外が全員目をうたがった。

教師「ぼ、ぼうやは毛利んところであずかっている子かい？」

コナン「え、あ、ああ。田所先生、蘭姉ちゃんはどうしたの？」

コナンはあやまってその教師の名前をいってしまった。

やっと元にもどった蘭も目をみひらいていた。

教師「なんで君渡しの名前をしっているんだい・・・？」

コナン「俺の担任なんだぞ！？知らないわけってあ！？」

そこにいまきてはいけない哀がやってきてしまった。

哀「工藤く〜ん。なにやってるの？はやくしてってえ！？」

哀はコナンのことを工藤とよんでしまった。

あわててコナンが口の前に罰点をつくった。

蘭「・・・貴方、新一ね・・・？」

蘭がいきなりむんむんのオーラをだしていった。

コナンはあわててたつと哀のランドセルの端をひっぱって教室からにげるようにでていった。

コナン「やべえ！！灰原、にげるぞ！！！！！！」

哀「あちよ！！！！」

蘭「まちなさい新一〜い！！！！！！」

クラスの全員がコナンと哀をおいかけた。

哀「なにやってるのよ！？貴方は！？」

コナン「しゃくねぐだろ！？つい。しょうがねえ。このまま電車のつてはいどちようあたりに行くか。はかせんちやおれんち、小学校は蘭がくるだろっから。」

哀「しかたないわね。でもどこをほつつつき歩く気？」

コナン「小学生がこんな時間にまちなかあるいてたらめだつし・しょうがねえ、飯コンビにでかってどっかのはいビルにでもいか。あんまいきたくねえけど。」

哀「そうするしかなさそうね……でもはいビルっていうと前の拘束された事件をおもいだすわ……。」

コナン「たしかに。きずいたらガムテでしばらくられててびっくりしたよ。」

哀「また、あんなことにならないでしょうね？」

コナン「さすがに2回目はねえだろ。」

哀「そうだといいいけど。あなたといっしょだとわからないわね。」

コナン「なんだよそのいいかた？」

哀「じゃあ今月何回事件にまきこまれたの？」

コナン「……12回……。」

哀「ほらね。分からないじゃない。」

コナン「ま、まあ心配すんなよ。いざというときは博士が追跡メカ
ネの予備できてくれるって！」

哀「拘束される気まんまんなのね。」

コナン「ち、ちげーよ。拘束なんてされっか。」

哀「まあいいわ。いきましょ。」

コナン 〓 新一?? (後書き)

ああああああああああああああああああああ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3374z/>

過激な人形劇

2011年12月11日18時46分発行